

【2025年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
人体の構造と機能及び疾病		必修	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
宇賀 美奈子	B302	m.uga		水曜日 11:30~12:50	
授業の目的・概要	<p>〈目的〉人の心の仕組み・社会におけるあり方を学ぶ前提として、生物としての視点から人体の構造と仕組みを知り、健康・疾病の捉え方や様々な疾病や障害の概要について理解する。健康に影響を及ぼす要因や健康課題を解決するための対策について理解する。</p> <p>〈概要〉健康・疾病の捉え方、人の身体構造と心身機能、疾病と障害の成り立ち、公衆衛生について、各回のテーマを決めて解説する。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	科目で取り扱う内容が広いので、授業内で取り上げたテーマをもとに興味を持ったり、疑問に感じたりしたところを、自ら調べて理解する方法を身に付けてもらいたい。				
教科書	教科書は指定しない。必要な資料は講義中に提示する。				
参考書	最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 1 医学概論/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版/2021 【改訂版】疾患とつながる 解剖生理図鑑/著：ゴロー/永岡書店/2024 その他、講義中に必要に応じて提示する。				
外部教材	講義中に必要に応じて提示する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	人の身体構造と心身機能について理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、(3)、HC(3)、(5)	
②	健康・疾病の捉え方について理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、(3)、HC(3)、(5)	
③	疾病と障害の成り立ち及び回復過程について理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、(3)、HC(3)、(5)	
④	公衆衛生について理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、(3)、HC(3)、(5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション 疾病について学ぶ	講義・演習	講義時にて提示した課題に基づいて予習・復習を行う		
2	病因について学ぶ	講義・演習			
3	人体の構成要素について学ぶ	講義・演習			
4	運動器系について学ぶ	講義・演習			
5	神経系について学ぶ	講義・演習			
6	感覚器系について学ぶ(1)	講義・演習			
7	感覚器系について学ぶ(2)	講義・演習			
8	循環器系について学ぶ	講義・演習			
9	呼吸器系について学ぶ	講義・演習			
10	消化器系について学ぶ	講義・演習			
11	泌尿器系について学ぶ	講義・演習			
12	内分泌系について学ぶ	講義・演習			
13	免疫系について学ぶ	講義・演習			
14	成長・老化について学ぶ	講義・演習			
15	公衆衛生について学ぶ まとめ	講義・演習			
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照				

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		55	0	0	0	45	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	30	0	0	0	20	50	
	思考・推論・創造する力	25	0	0	0	25	50	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	講義で取り扱った内容に則した筆記試験を行う。				試験結果の返却とともに、正解と解答例を提示する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	授業中もしくは時間外学習として課題を課す。課題の提出及び課題の得点を評価の対象とする。評価基準は課題ごとに提示する。				講義中の解説もしくは Teams で正解の提示を行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験								
実践的授業の内容								
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>本講義は対面授業だが、連絡・資料配布・課題提出等に Teams を利用する。</li> <li>指示もしくは許可の有る場合を除き、提出物の大部分が生成 AI の出力であると判断される場合は評価を減じる。</li> <li>止むを得ずシラバスの変更が生じる場合は授業・Teams 等で周知する。</li> </ul>							